

展覧会

2025年8月26日



TOTOギャラリー・間 北九州巡回展

吉村靖孝展**マンガアーキテクチャ——建築家の不在**

TOTO GALLERY・MA Traveling Exhibition in Kitakyushu

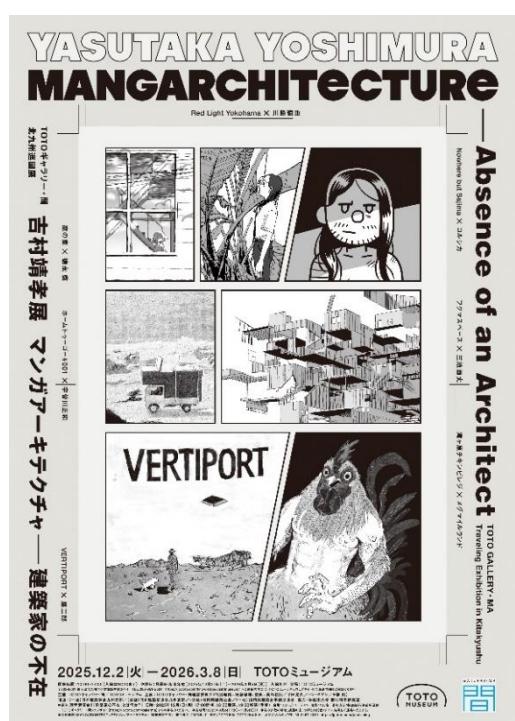
Yasutaka Yoshimura: MANGARCHITECTURE

— Absence of an Architect —

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:田村 信也)が社会貢献活動の一環として運営している「TOTOギャラリー・間(ま)」(東京都港区)は、「吉村靖孝展 マンガアーキテクチャ——建築家の不在」の北九州巡回展を2025年12月2日(火)~2026年3月8日(日)の会期でTOTOミュージアムにて開催します。

本展は2025年1月からTOTOギャラリー・間において開催され好評を博した展覧会の北九州巡回展となります。吉村氏は、新しい住まい方や暮らしのあり方を模索し、多角的な視点で現代社会における建築の可能性に取り組む建築家です。本展では、7人の漫画家とのコラボレーションにより、建築家の作家性を問う試みをおこないます。

また、関連イベントとして、吉村靖孝講演会「『建築家の不在』とは何か?」を2025年12月1日(月)に開催します。



本展ポスター

「吉村靖孝展 マンガアーキテクチャ——建築家の不在」

会期——2025年12月2日(火)~2026年3月8日(日)

会場——TOTOミュージアム

福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

休館日——月曜・年末年始

[2025年12月27日(土)~2026年1月5日(月)]

※TOTOミュージアムウェブサイト

(https://jp.toto.com/knowledge/visit/museum)

にて最新情報をご確認ください。

開館時間——10:00~17:00(入館は16:30まで) /入館無料

吉村靖孝講演会「『建築家の不在』とは何か?」

日時——2025年12月1日(月)

17:00開場、18:00開演、19:30終演(予定)

会場——TOTOミュージアム

福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

定員——150名

参加方法——参加無料／事前申込制

TOTOギャラリー・間ウェブサイト

(https://jp.toto.com/gallerma) よりお申込みください。

申込期間——2025年9月24日(水)~11月9日(日)

申込み多数の場合、抽選の上、11月21日(金)までに結果をご連絡いたします。

展覧会概要

TOTOギャラリー・間は、TOTOミュージアム(福岡県北九州市)での巡回展として、「吉村靖孝展 マンガアーキテクチャ——建築家の不在」を開催します。

吉村靖孝氏は建築活動の初期の頃より、建築が人びとのふるまいなどの自発的な動きと、社会制度や状況など多様な社会的条件との架け橋になれるよう、両者のさまざまな関係構築を試みてきました。

たとえば、既成のテント倉庫で木造建築を覆うことで、大きな一室空間の下で子どもがのびのびと過ごせる子育て支援施設を実現した「フクマスベース」(2016年)、建築を不動産と動産のあいだとらえ、土地に縛られずに住む場所の選択ができる生活を仮想した「半動産建築」の「ホームトゥーゴー#001」(2019年)、人間だけでなく動物もともに幸せな人生を送れるアニマル・ウェルフェア社会を構想した「滝ヶ原チキンビレジ」(2021年)など、これから日本が直面する人口減少社会における、新しい住まいや暮らしのあり方を模索しています。

吉村氏が探究するこれら現代社会における建築の拡張性をさらに進めるために、仮に建築家個人の作家性を「不在」にしたら何が起きるのか？ 氏が自らの作品を題材に、本展を通して問いかけています。

本展では、吉村氏の7つのプロジェクトを異なる漫画家が7つのストーリーとして描き下ろすことにより、建築の新たな解釈の可能性を探ります。二次元の絵画表現の中でも特に独自の発達を遂げ、私たちの日常生活にも馴染み深いものとなった漫画の世界。漫画が建築と出逢い、建築家の手を離れた先に描かれるものはなにか。建築と漫画のコラボレーションによって生まれるものを見つけていただければ幸いです。

展覧会詳細

展覧会名(日)——**TOTOギャラリー・間 北九州巡回展**

吉村靖孝展 マンガアーキテクチャ——建築家の不在

展覧会名(英)——TOTO GALLERY·MA Traveling Exhibition in Kitakyushu

Yasutaka Yoshimura: MANGARCHITECTURE —— Absence of an Architect

会期—— 2025年12月2日(火)～2026年3月8日(日)

開館時間—— 10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日—— 月曜日・年末年始[2025年12月27日(土)～2026年1月5日(月)]

*ご来館の際には、TOTOミュージアムウェブサイトにて最新情報をご確認ください。

入館料—— 無料

会場—— TOTOミュージアム 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

TEL 093-951-2534 <https://jp.toto.com/knowledge/visit/museum>

【バス】JR小倉駅小倉城口の小倉駅バスセンターから約15分貴船町バス停下車

【北九州モノレール】香春口三萩野駅下車、南口より国道3号線を八幡方面に徒歩
約10分

主催—— TOTOギャラリー・間／TOTOミュージアム

企画—— TOTOギャラリー・間運営委員会

(特別顧問=安藤忠雄、委員=貝島桃代／平田晃久／セン・クアン／田根 剛)

後援—— (一社)日本建築学会九州支部／(公社)日本建築家協会九州支部／(公社)福岡県
建築士会／(一社)福岡県建築士事務所協会

協力—— 早稲田大学 吉村靖孝研究室

展覧会コンセプト

マンガアーキテクチャ——建築家の不在

90年代の終わりに大学院を休学してMVRDV^{※1}という設計事務所で働きはじめたとき、彼らがつくる模型がOMA^{※2}の模型と似すぎていて驚いたのだが、のちにそれは同じ模型屋の仕事と知り、二度驚いた。模型をつくることが建築家の仕事ではなくなっていることにも、はたまた違う建築家同士が模型のティストを共有しすることにも驚いたのである。

もはや模型は、建築家を表現するものとは言い切れなくなった。自らの手で図面を引く建築家も今では稀だろう。建築家の作家性というときの「作家性」とはいったい何なのだろうか？

そこでTOTOギャラリー・間での展覧会という、まさに作家の自己表現が問われる舞台で、あえて作家性を消してみることにした。今回注目したのは、模型でも図面でもなく「漫画」というメディアだ。僕が設計した7つのプロジェクトをとりあげ、7人の漫画家に依頼してそれぞれ建築から発想される世界を描いてもらった。

実は僕は3年前に脳出血を発症し、今も後遺症と格闘しているのだが、その病気が治癒する期間とTOTOギャラリー・間の展覧会をつくりあげる期間がぴったり重なってしまったことも、この展示案を後押ししたと言えるだろう。創意を尽くして描かれた漫画が建築家の想像を軽々と超えていくさまを、ぜひとも体験していただきたい。

吉村靖孝

※1:オランダのロッテルダムを拠点とする建築家集団。1991年に設立された。3名のボスが居るが、そのうち2名はOMA出身
※2:オランダのレム・コールハースらによって1975年に設立された建築設計事務所

出展漫画家×出展プロジェクト(建築作品年代順)

コルシカ × Nowhere but Sajima(2008年)

川勝徳重 × Red Light Yokohama(2010年)

徳永葵 × 窓の家(2014年)

三池画丈 × フクマスベース(2016年)

宇曾川正和 × ホームトゥーゴー#001 (2019年)

メグマイルランド × 滝ヶ原チキンビレジ(2021年)

座二郎 × VERTIPORT(進行中)

出展者プロフィール

吉村靖孝(よしむら やすたか)／建築家

1972年愛知県豊田市生まれ。1995年早稲田大学理工学部建築学科を卒業、1997年同大学院修士課程修了。1999-2001年文化庁派遣芸術家在外研修員としてオランダのMVRDVに在籍。2005年吉村靖孝建築設計事務所を設立。2013-18年明治大学特任教授。現在、早稲田大学教授。

吉岡賞(2006年)、アジアデザイン賞(2009年)、グッドデザイン賞特別賞(2010年)、住宅建築賞金賞(2010年)、JCDデザインアワード大賞(2011年)、日本建築学会作品選奨(2011、2014、2018年)、AP賞(2014年)、WADA賞(2016年)、日本建築設計学会賞大賞(2018年)など受賞多数。

主な著作に『超合法建築図鑑』(2006年／彰国社)、『EX-CONTAINER』(2008年／グラフィック社)、『ビヘイヴィアとプロトコル』(2012年／LIXIL出版)など。



関連イベント

吉村靖孝講演会「建築家の不在」とは何か？」

日時——— 2025年12月1日(月)17:00開場、18:00開演、19:30終演(予定)

会場——— TOTOミュージアム

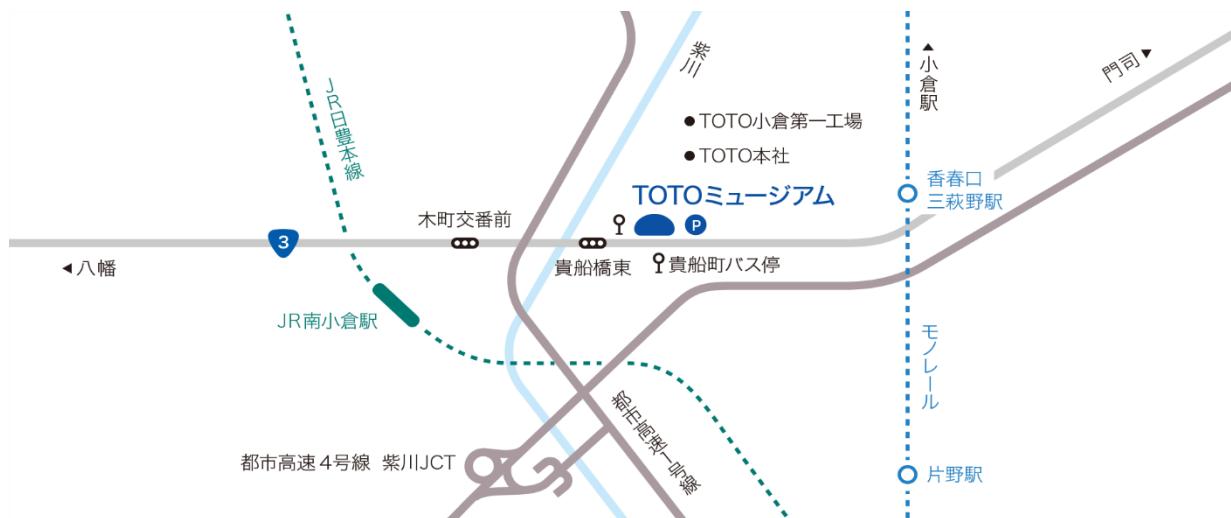
定員——— 150名

参加方法——— 参加無料／事前申込制 TOTOギャラリー・間ウェブサイト
(<https://jp.toto.com/gallerma>)よりお申込みください。

申込時間——— 2025年9月24日(水)～11月9日(日)

申込み多数の場合、抽選の上、11月21日(金)までに結果をご連絡いたします。

注意事項——— 当講演会では未就学のお子様連れのお申し込みはご遠慮いただいております。



関連書籍

『MANGARCHITECTURE(マンガアーキテクチャ)建築家の不在』

著者——吉村靖孝

発行年月——2025年1月

定価——2,750円(本体2,500円+税10%)

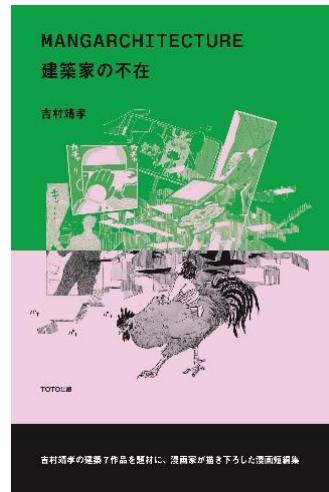
体裁——A5判変型(226×140mm)、並製、216頁、和英併記

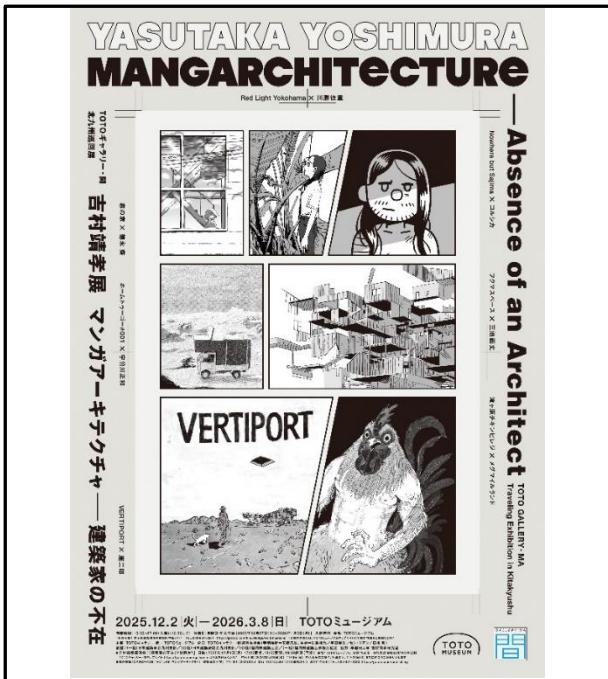
ブックデザイン——REFLECTA, Inc.(邵琪+岡崎真理子)

発行——TOTO出版(TOTO株式会社)

お問い合わせ——TEL 03-3497-1010

<https://jp.toto.com/publishing/detail/A0415.htm>





[1]展覧会ポスター



©Yasutaka Yoshimura

[2]Nowhere but Sajima

(神奈川県、2008年)
海への眺望とプライバシーの両方を確保した、一棟丸ごと貸切できる別荘。

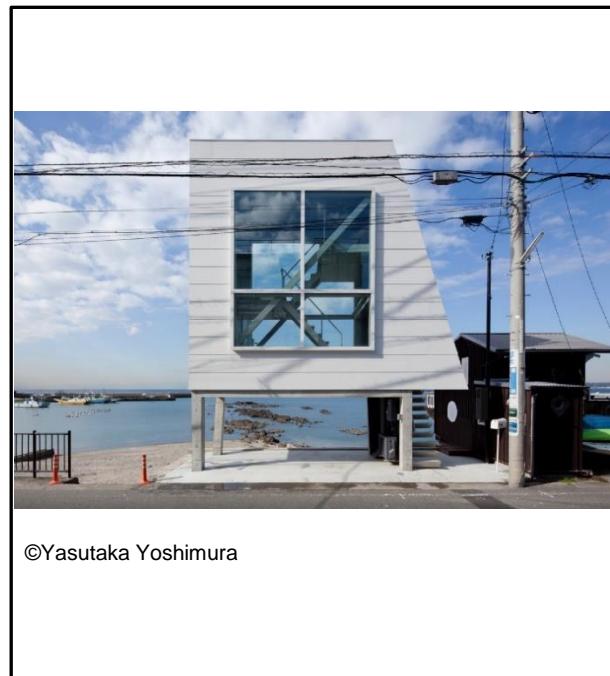


©Yasutaka Yoshimura

[3]Red Light Yokohama

(神奈川県、2010年)

横浜開港150周年記念イベントの一環で横浜黄金町のビルの一室を改修。かつての赤いネオンサインが空間にフラッシュバックする。



©Yasutaka Yoshimura

[4]窓の家

(神奈川県、2014年)

海と陸の狭間にある横3×8mの駐車場の敷地に建つ、3階建ての別荘。大きな窓で短い滞在時間でも眺望を最大限楽しめる。



©Yasutaka Yoshimura

[5]フクマースペース

(千葉県、2016年)

幼稚園附属の子育て支援施設。高さ8mの鉄骨造既成倉庫の内側に木造の構造体を挿入し、子どもの多様な居場所をつくり出す。

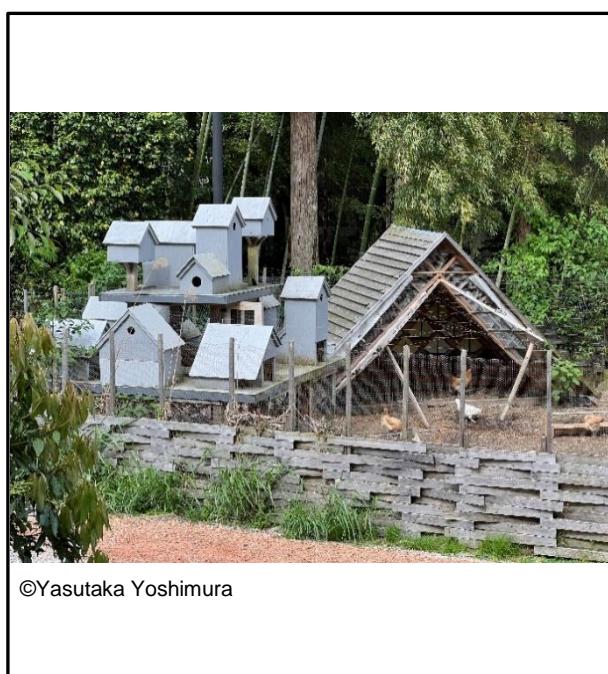


©Yasutaka Yoshimura

[6]ホームトゥーゴー#001

(2019年)

軽トラの荷台に部屋を積んで移動し、各地で暮らせるモバイルハウス。シェアハウスなどとの一体利用を想定した設計。

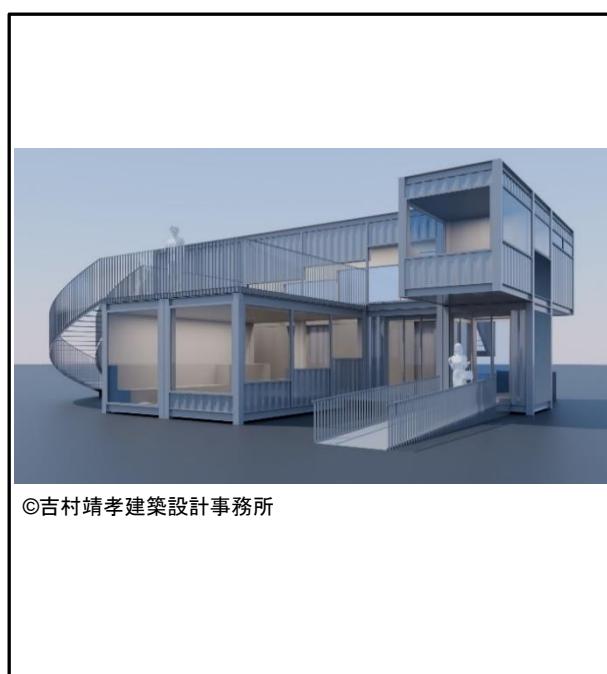


©Yasutaka Yoshimura

[7]滝ヶ原チキンビレジ

(石川県、2021年)

自律循環を目指す里山集落の鶏舎。一羽一羽に巣箱を提供する「個室群鶏舎」と格子状の鶏舎を傾けた「傾斜鶏舎」からなる。



©吉村靖孝建築設計事務所

[8]VERTIPORT

(進行中)

次世代エアモビリティのための空港。コンテナを活用し、今後の拡張の可能性を持たせている。

TOTOの建築文化活動

TOTOは、建築の専門ギャラリー「TOTOギャラリー・間(ま)」と建築系書籍の出版をおこなう「TOTO出版」を運営しています。これらは、建築文化の醸成・育成を通して社会に貢献することを目的として創設され、40年にわたり活動しています。

「TOTOギャラリー・間」と「TOTO出版」は、建築家がもつ多様な価値観を空間で表現する「展覧会」、自身の言葉で伝える「講演会」、そしてかれらの理論と思想を伝える「出版」によって、建築の文化的な価値を社会に発信しています。



TOTO出版

共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適・健康



環境



人とのつながり



「社会的価値・環境価値」と「経済価値」を同時に実現する共通価値創造戦略 TOTO WILL2030 では、「きれいと快適・健康」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」としてサステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>